

### 環境対策特集

1	グラビヤ ダム施工における材料の有効活用と重力を利用した混合プラント	
3	巻頭言 建設機械環境規制の導入と情報技術の利用	井口 雅一
4	建設施工と環境対策	機関誌編集委員会
6	国土交通省環境行動計画の概要	
	—国土交通分野における新たな環境施策とは—	麓 裕樹
9	ダム施工における材料の有効活用と重力を利用した混合プラント	
	.....佐藤 健一・吉岡 一行・矢野 栄一	
15	固化処理底泥土を用いた老朽化ため池の堤体改修法とその適用事例	
	.....福島 伸二・谷 茂・北島 明	
21	表土の移植復元—表土マット移植工法—	梁川 俊晃・内田 渉・徳永 正夫
27	鉛散弾分別回収システムとリサイクル	
	—射撃場の環境保全対策技術—	吉岡 由郎・西村 良平・大山 将
33	コンクリートカッター工事における環境対策への取組み	大西 潔
38	建設機械における振動・騒音対策	竹下清一郎
42	排出ガス3次、4次規制に対応する新型エンジンの開発	岩脇 通仁
48	環境に優しい建設機械の消耗部品、補助資材	
	—作動油、グリース、クーラント等の環境対応—	福田 達
54	交流のひろば IC タグの異分野への応用現況	村山 裕樹
57	ずいそう ウォーキング雑感	宮地 明彦
58	ずいそう 辺境の地に日本と結ばれた糸を見た	木本 公平
59	JCMA 報告 建設業部会見学会報告—ハツ場トンネル工事現場—	建設業部会
63	CMI 報告 トンネル内歩道部環境改善の新たな試み	安井 成豊
66	新工法紹介	広報部会
69	新機種紹介	広報部会
73	統計 建設機械市場の現状/(2004年7月)・広報部会	
79	お知らせ	
81	行事一覧 (2004年8月)	
84	編集後記	(森本・金津)

#### ◇表紙写真説明◇

#### 「都心部における現場循環型工法」

建設工事で課題となる建設廃棄物や建設発生土の問題に関しては「現場内で発生した建設廃棄物や建設発生土は現場内で処理して再利用する」という現場循環型工法が採用されるようになってすでに久しい。施工現場から大量の廃棄物、発生土を持出さない、建設材料を持込まないということの環境負荷低減への貢献度は都市部工事においては一層に大きいと言える。

銀座まで地下鉄で10分ほどの場所で鉄工所を解体、更地に新しく大型ホーム・センターを建築するための工事現場での撮影である。

周辺地域は20年前までは東京湾埋立ての準工業地区であったが、それ以来特にこの10年は大型高層マンションが林立する地区に変わっ

てきた。そのような周辺環境において旧建物の解体、土地のリニューアル、新建築物のための基礎打ち、建築工事が行われる事になるが、ここでの「環境問題」は郊外、山間部などでの「環境対策」とは異なった要素が要求される。

地域住民への事前説明、作業現場を囲う化粧フェンス、解体作業中の騒音、粉塵対策などに始まり、機器材の運搬車両のコントロール等、現場内にとどまらず都市部が故の現場周辺への配慮が重要となっている。

このような状況で「現場循環型工法」がもたらすのは、作業現場に出入りする運搬車両の数を減らせることによる騒音、振動、排気ガス削減、工期全体の短縮化というような効果をも上げることができる。結果として周辺地区、住民の生活環境保全に寄与しているといえる。